

行政からのお知らせ



◎近畿経済産業局からのお知らせ 冬季の省エネルギーの取組について -11月から3月は冬の省エネキャンペーン-

省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議は、関係政府機関で構成されており、毎年、夏と冬の省エネキャンペーン期間が始まる前に開催されています。本日、当該会議にて「冬季の省エネルギーの取組について」(別添)を決定しました。

この決定に基づき、11月から3月までの冬の省エネキャンペーンの期間において、各方面に省エネルギーの取組を呼びかけ、国、地方公共団体、事業者及び国民が一体となった省エネルギーの取組をより一層推進することとしています。

また、政府自らも率先して、暖房中の室温の適正化や照明の削減など、省エネルギーの取組を実践します。

詳しくはこちらから

<https://www.meti.go.jp/press/2020/10/20201023006/20201023006.html>



★クイズです!★



★に入るのは何?

2/1 1/1 = NO

3/4 1/4 2/4 = UFO

4/8 2/8 5/8 = ★



あとがき



毎年毎年あつという間だと感じていますが、今年はあつという間もないほどに師走を迎えました。世界的な新型コロナウイルスの感染拡大で、好むと好まざるにかかわらず、私たちの暮らし、働き方が一変し皆様も今までにないストレスを抱える毎日を過ごされていることと思います。いつもと違う環境が続いてイライラしがちですが、そんなときだからこそ息抜きの時間をきちんと作るのが重要です。医師がおすすめするストレス解消法...1.声を出して笑う2.美味しいものを食べる3.適度な運動 4.良い睡眠だそうです。特に「笑う」ことは心にも体にも良い影響を与えるそうですので、私も「楽しくなくても1日1回は声を出して笑う」を実践してみようと思います。まだまだ先行き不透明な時間が続くと思いますが、会員の皆様のお力添えを頂きながら関西NBCはこれからも少しでも皆様のビジネスのお役に立てるような活動をしてまいります。少し早いですが、本年もご協力頂きありがとうございます。関西NBC公式SNS(FB/Twitter/Instagram)のフォロー、「いいね」を是非お願いします。ホームページも随時更新しておりますので是非ご覧ください。

こんなことやってます!!



◎未来のチカラ育成委員会 「科学者技術者講演会」に協力

未来のチカラ育成委員会では11月5日(木)、四條畷高校において実施された「科学者技術者講演会」に講師派遣協力を行いました。科学者としてサラヤ株式会社 パイオケミカル研究所サラヤ微生物研究所センター 西田 真実様、技術者として株式会社島精機製作所 トータルデザインセンター 高水 達哉様が講演を行いました。

◆それぞれの研究・開発活動について

西田氏:処方開発された新処方について、微生物を用いた評価を行っている。

高水氏:スマートテキスタイル(一般の繊維素材では得られない新しい機能を備えたテキスタイル)素材の開発を行っている。

◆やりがいについて

西田氏:新しい発見(最初の発見者になる)、発見・研究したことが社会の役に立つ商品となった時。

高水氏:世の中になくのものをつくる。ないからつくる。そして、なくてはならない企業になる。

◆質疑応答

①研究テーマの「見つけ方」「決め方」を教えてください。

→ 自分の興味あることを見つめてみる。

→ 理想(目標)を高く掲げ、自分の周りの現実を見つめる理想と現実の間のみ課題が見つかる。

②それでも研究テーマが見つからるときにはどうすればいいですか。

→ テーマ探しを追いかけない。関係ないと思われる分野にも目を向ける。

③高校時代に「やってよかった」「やっておけばよかった」ことは何ですか。

→ 英語。英語が分かる情報量が一気に増える(ウィキペディアの日本語と英語の情報量の差)。海外での経験(日本以外の事にも目を向ける)。

④コロナ問題を解決するために「どのようなこと」に力を入れていますか。

→ コロナは自分ではどうすることも出来ないが、コロナ後に、前に進むために今自分がすべきことをしっかりしておく。

⑤生まれ変わっても「同じ道を進みますか?」「違う道に進みますか?」

→ 違う道に進んでみたい(西田氏)、同じ道を進むと思う(高水氏)

⑥失敗して落ち込んだ時はどうする?

→ 研究・開発はほとんどが失敗(思う通りには行かない)なので、いちいち気にしない。むしろ失敗を 恐れて立ち止まっていることの方が良くない。

◆受講生へのメッセージ

1) 失敗を恐れず挑戦することが大切である

2) 単独で新しい価値を生み出すことは難しい社会になってきている、今後は「共創」がポイントである

3) 自分の得意分野ではない分野との出会いが大切

4) 頭で考えることも必要であるが、現場に出て経験するフィールドワークが大切である

5) 何事も経験しておくことに損はない

誠意とユーモアにあふれたお二人のお話は、生徒の心ばかりではなく、先生にも響き、大変好評のうちに終了しました。



発行元：一般社団法人関西ニュービジネス協議会

〒540-0034 大阪市中央区島町1-2-3 三和ビル8F

TEL 06-6947-2851 FAX 06-6947-2852

<http://www.nb-net.or.jp> nbk@nb-net.or.jp

◎ツイッター ⇒ @NBK10

◎フェイスブック ⇒ @nb.kansai 「いいね!」をお願いします!

◎インスタグラム ⇒ @nbk58